

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・季節商材のフグコースや寒の時期のウナギ等、年末から正月にかけての落ち込みを埋める勢いで予約が入っている。そのおかげで、前年同月比140%となっている。
	◎	その他サービス [葬祭業] (経営者)	お客様の様子	・今月は、今までにない依頼件数である。葬祭への考え方が少しずつ変わってきている。
	○	商店街 (代表者)	販売量の動き	・当店は学校指定品の販売が多く、現在新入生用の注文を受け、販売が始まっているが、前年とほぼ変わらないかやや良い売行きである。
	○	百貨店 (店長)	来客数の動き	・前年にはなかった新規催事等による集客の増加は予測以上である。また、オケージョンニーズで衣料品の動きも出てきている。
	○	スーパー (経営者)	販売量の動き	・前年比では売上は10%増加、来客数は3%増加しており、2年ぶりに来客数が増加している。衆議院選挙では、6か所の投票所からボランティア用の弁当注文が入り、忙しかった。月末にも弁当の大量注文が入っている。花見になれば、また忙しくなる。新政権のスピード感に期待しているが、消費税の変更は実務が大変なため今のままでよい。
	○	スーパー (企画担当)	来客数の動き	・来客数は前年割れが続いているものの、前年実績に追いつきつつある。
	○	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・徐々に天候が暖かくなり、来客数もやや増えてきたため、売上の的には以前よりは若干上乘せできている。
	○	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・政治的要因もあるが売上は微増しており、このまま伸ばさせたい。特に、土日は暇な傾向にあったが、ここにきて客入りが良くなっている。
	○	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車の受注台数が上向いている。新型車効果、減税への期待、補助金増額等が追い風となり、商談数も増えている。
	○	自動車備品販売店 (従業員)	来客数の動き	・少しずつ暖かくなってきたこともあり、洗車用品等メンテナンス関連商材の需要が増え、来客数が前年を超えている。
	○	スナック (経営者)	来客数の動き	・売上は物価上昇が続いたときに少し落ち込み、自転車の飲酒運転に対する罰則が厳格化されたときに再び落ち込んだが、しばらくして回復してきたため、全体的に景気は良くまっているとみている。少なくとも、値上げができなかったデフレ時代よりはかなり良くなっている。
	○	タクシー (経営者)	来客数の動き	・人の動きが良く、売上も上がってきている。
	○	観光名所 (職員)	販売量の動き	・春夏の予約開始とともに問合せが多く、予約状況も前年より好調である。
	○	ゴルフ場 (経営者)	お客様の様子	・株価は底堅く値上がりしており、物価対策、人件費増加の効果が出てきていると実感している。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・週末はファミリー層を中心に来客数が好調で、平日の夜は若者層を中心に集客できている。団体利用も大口を含めて予約が入っている。
□	商店街 (代表者)	お客様の様子	・前年比では20%から30%値上げした商材が多く、客の購買意欲は下がっている。	
□	一般小売店 [家電] (経営者)	お客様の様子	・三寒四温の天候で、季節商材の動きは止まっている。新生活に向けた動きが始まってよい時期だが、商材の値上げが多く、客が価格面で専門店から量販店へ動いている。年配者は専門店、若年層は量販店やインターネット購入という流れが定着しつつあり、個人経営は厳しい状況が続く。	

	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・例年と比べて天候が安定し、穏やかな日が続いたため、来客数も伸び、売上が増加している。バレンタインデー関連で食品が好調で、春物衣料も堅調に推移している。また、特選ブランドや時計も売上が伸びしており、景気が上向きになってきたようにも見受けられる。	
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数が減少しており、節約志向が強まっている。	
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・客の来店頻度の低下、まとめ買い傾向は変わらない。セール実施日に大容量の商材を複数購入し、意図的に来店回数を減らしている様子がうかがえる。	
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・好天に恵まれ連休や週末の来客数は増加している。ただし、経費増加が重くのしかかり、営業利益はマイナス傾向が続いている。	
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月後半は、最高気温が高い状態で推移したので、その分、売上がやや良くなったが、気温が上がって伸びると考えていた部分が伸びなかったりして、トータルで見れば変わらない。	
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・年々来客数の減少が続いている。	
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備はいずれも目標をクリアしているが、車両販売に関しては、新車、中古車共に目標に届いていない。物価高のため、購入には慎重になるという客の声を非常によく聞く。	
□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・天候が回復傾向にある割には、来客数は少ない。	
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・物価上昇に伴う旅行代金の値上げが続き、来客数が減少している。特に、海外旅行は為替レートや燃料サーチャージが安定しないため、客が増えない。	
□	タクシー運転手	販売量の動き	・毎月、昼間はまずまずの動きだが、夜間の動きが良くない。	
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・サービスエリア拡張がある程度落ち着き、次のフェーズへの移行段階である。新規加入者を増やすよりも単価を上げて全体的な売上の底上げを目指していく。	
□	ゴルフ場（副支配人）	お客様の様子	・3か月前と同様に、土日の来場客は値上げへの反応も悪くない。一方、平日の来場者はシビアで、プレー料金や天候をみながら予約が動いている。	
▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・天候の崩れが週末に重なったことで、マイナスの影響が非常に大きく出ている。近隣の降雪は余りなかったものの、明らかに客足は鈍り、外に出ている人自体が少なかった。	
▲	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・今月はインバウンドの落ち込みが激しかった。期待していた春節期間は、前年は中国からのインバウンドで団体、個人共に予約があったが、今年は皆無に等しい。	
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・冬晴れから一転、雨の日等はアーケードに人影が全くなく、重苦しい雰囲気、明るい話題がない。	
×	その他専門店〔酒〕（店長）	来客数の動き	・ミラノ・コルティナオリンピックの開催など、今年は大きなスポーツイベントが多い。その前には衆議院選挙もあったことで、非常に客の動きが良くない。諸物価が上がっている上に、酒自体の単価も上昇傾向にあることも影響している。	
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・日中関係の影響によりインバウンドが減少している。出発地別の売上を見ると、中国、香港、首都圏からの客が減少している。首都圏からの客の減少理由としては、近隣の観光地で春節の時期を中心に、インバウンド向けであった客室が国内向けに大量に販売されたことで客の取り合いが発生したためと考えている。	
×	遊園地（職員）	来客数の動き	・今月に入り、気温の大幅な低下や月初めの週末の降雪による高速道路の通行止めの影響により、前半は出足が鈍かった。しかし、後半の3連休ではイベントによる集客が功を奏し、前半の落ち込みを回復しつつある。	
企業	◎	*	*	*

動向 関連 (甲信越)	○	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・特注品の受注対応で多忙である。
	□	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・ガソリン価格が低下した影響もあり、工場見学者は増加傾向にあるものの、販売数量は伸び悩んでいる。
	□	電気機械器具製 造業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・受注量は多少下がっているものの、それほど影響はないと考えている。
	□	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・1月の受注分を2月に納品したため、今月の売上はほぼ前年並みである。地金の高騰が続くなか、客が望む価格帯では商材作りができないため、先行きには不安が残る。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・製造業は好不調の企業があり2極化している。非製造業は観光関連はインバウンド需要を中心に順調だが、人件費増加や原材料価格高騰でコストが上昇し、消費者の節約志向も強まっているため、収益面では厳しい状況が続いている。
	□	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・訪日渡航自粛要請によって中国からのインバウンド団体受入れホテル等では、客足が悪化している。一方、他のアジア諸国、欧米からの旅行客は引き続き増加している。
	□	新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・前年後半から、折込の出稿が一部地域で僅かに前年を超えているが、これは大型店進出によるものであり、新規出店のないエリアでは前年比微減が続いている。
	▲	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・注文数が減っている。
	▲	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・仕事なくなるほどではないものの、全体的に仕事量が少ない。部品の入荷にめどが立たない物が増え、効率の悪さが目立っている。
	▲	建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・工事の受注量が伸び悩んでいる。
×	*	*	*	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 （営業担当）	求職者数の動き	・相変わらず、正社員志望者が多いものの、自分のスキルに見合わない応募をする人や頑張る意欲が低い人が散見される。企業側も、離職希望者に十分な対応をしないまま辞めさせたり、事前にきちんと打合せもせず採用を進めたりしている場合が多い。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増減を繰り返しており、人手不足感は続いている。
	□	職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・大雪の影響等が一部業種にみられたものの、足元の景況感がすぐに悪化する状況ではない。為替相場の不透明感は懸念材料として残るものの、価格転嫁も進むなか、人手不足がなかなか解消せず、業績に影響しているという声も企業から聞かれる。
	▲	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・当所管内令和8年1月の有効求人倍率は1.41倍となり、前年同月比で0.03ポイントの下降となっている。月間有効求人倍率が前年同月を下回るのは、21か月連続となっている。
×	—	—	—	